

名古屋産業大学学長および名古屋経営短期大学学長式辞

尾張旭キャンパスの桜は綺麗にさき誇り、春らんまんのこの季節に、名古屋産業大学、名古屋経営短期大学に入学されました 294 名の皆さん、ご入学おめでとうございます。優秀な皆さんをお迎えすることができ、心より歓迎し、嬉しく思っています。教職員を代表しまして、お祝いの言葉を申し上げます。

また、新入生の保護者の皆様、ご家族の皆様にも、謹んでお喜び申し上げます。ご来賓の皆様にも、本日大変お忙しい中、ご臨席を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、新入生の皆さん、何名かの方々とは、これまでオープンキャンパスなどで、親しくお話をさせていただきました。皆さんがそれぞれ将来の夢を見つけたいと願っていること、本学で輝かしく成長したいという気持ちに、心強さを感じ、大変嬉しく思いました。明日から始まるオリエンテーション週間では、もっと深く将来の夢について語り合いたいと思っています。

皆さんは、今日から名古屋産業大学と名古屋経営短期大学の学生として、学生生活を送ることになります。大学の皆さんは、これからの 4 年間、短期大学の皆さんは 2 年間あるいは 3 年間、充実した学生生活を送り、将来の夢に向けて自立する力をつけていただきたいと、心から願っています。私たち教職員は、皆さんが困っている時や悩んでいる時に、そっと背中を押してあげるような存在になりたいと思っています。そして、皆さんの夢の実現に向けて精一杯、全力でサポートすることをお約束いたします。

さて、皆さんは昨日まで高校生でした。しかし今日からは、大学生となりました。「高校生」と「大学生」はどこが違うのでしょうか。

高校生は、「教育を受ける者」。つまり、先生方から教えられる存在だったと思います。(先生方から指導され、受け身だったと思います。)
それに比べ、大学生は、「自ら進んで学ぶ」「積極的に行動する」ことが求められます。つまり皆さんは、選挙権もある大人への道、自立への一歩を踏み出したのです。高校時代とは学ぶ姿勢を変え、自ら多くの事に積極的に挑戦してみる事が重要になります。この大学には、皆さんが活躍できる多くのフィールドを用意しています。自分が興味のないことでも積極的に挑戦していきましょう！！多くの経験が必ず皆さんを成長させてくれます。このことを、まずしっかりと自覚してください。

さて、名古屋産業大学は 2000 年に開学し、昨年、学部名を現代ビジネス学部と変え、新たなスタートを切っています。名古屋経営短期大学は、1965 年に開学し、今年で 54 回目の入学式を迎えました。

そして、大学、短大を運営する「学校法人 菊武学園」は、今年の秋 創立してから 70 周年を迎

えます。70年という長きにわたって、現在までに70,000人を超える卒業生が社会で活躍しています。

その長い歴史に培われた教育理念が、「愛情教育」と「職業教育」です。私をはじめ、皆さんを教える教職員の方々も、この二つの理念を大事にして、皆さんをサポートしていこうと考えています。

愛情教育とは、友達や自分の周りの人たちに思いやりを持って接することを学びます。相手への思いやりは、相手への優しさと自分への厳しが必要です。中学や高校のとりわけ受験勉強では、一つの正解を求める学びを修得されたと思います。しかし、大学や短大では、答えが一つではないことや正解が見つからないことも学びます。

つまり、世の中にはさまざまな考え方、アプローチの仕方があるということです。広い視野で物事を洞察し、いろいろな考え方があることを認識することで、初めて相手を思いやる心が生まれ、人として成長し、生き抜く力を身に付けることができます。

もう一つの「職業教育」とは、「実践教育」「キャリア教育」とも言います。本学は、実践的な教育を多く取り入れています。（資格取得などを通じて卒業後の社会で生き抜く力を身に付けることを強化しています。）

その「職業教育」の大きな柱の一つが、就業体験であるインターンシップです。菊武学園の建学の精神「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を基盤に、70年前の学園を開学した当初から、実践教育、キャリア教育を実施してきたと言っても過言ではありません。

大学では、大きな特色の柱として、3か月にわたるインターンシッププログラムがあります。大学生の皆さんは、優秀な技術を誇る中小企業、中日ドラゴンズなどスポーツ関係、尾張旭市など自治体をはじめ、長野県阿智村や三重県美杉村での農山村インターンシップや台湾などの海外インターンシップなど、多種多様なインターンシップ先から選ぶことができます。

3か月のインターンシップで企業側から内定をいただいた学生も何名かおられます。つまり、就活をすることなく、就職先が決まり、大学生活をさらに充実させることも可能なのです。本学では、このような「無就活大学」を目指しています。

インターンシップを経験した学生の報告会では、全員に大きな成長が顕著にみられ、体験を聞かせてもらおうと、一人ひとりが働くことの大切さやコミュニケーション能力を向上させたことが伝わってきました。

短大の皆さんも、1年生から、インターンシップや施設実習などの就業体験を受けることができます。ケーブルテレビ、ホテル、農協、自衛隊、病院、幼稚園、保育園、高齢者施設、児童養護施設など様々な所で、働くことの大切さを学んで下さい。

資格取得の分野では、国家資格以外にも秘書検定試験など多くの資格取得者を輩出しており、今年の就職率も、3学科とも100%に近い実績を毎年積み重ねています。

このようなインターンシップや職業教育を経験することで、大学生活を通して社会で活躍できるスキルを身に付け、有利に就職することに繋がっていくのです。

また、学業以外に、部活動、サークル、ボランティア、海外研修、大学祭などの学校行事などにも大いに参加し、友情を育んでいただきたいと思います。

皆さん、7年前の東日本大震災が発生した時のことを覚えていらっしゃいますか。つい3週間ほど前の3月11日、ちょうど7年前に震災が起きた同じ日に、皆さんの先輩らがボランティアで、宮城県南三陸町にて支援活動を行いました。被災者の言葉に涙し、現地でしか分からない生きるための大切な心のあり方を体感していました。私も現地に参りましたが、参加した学生は、「思いやりの心の大切さが、本当に良く分かった」と話してくれました。社会貢献をとおして得た思いやりの心は、貴重なものだったと思います。学業以外のこのような経験も、大切な実践教育の一環と考えています。皆さんも是非参加してみてください。

これからの時代に国は、「1億総活躍社会の実現」とか「働き方改革の推進」などを、実現させようとしています。

それがどんな社会になのか不透明ですが、確実にくるのはインターネット情報社会と人工知能とを組み合わせた、ロボット社会の到来が加速されることでしょう。

愛知県でも、すでに2年後の東京オリンピックでの実用化を目指して、マイカーの自動運転の実験が始まりました。実用化の一手手前まで来ています。

その一方で単純労働の半分はロボットに奪われるとも言われており、私たち人間はこれからどのような生き方をしたらいいのか問われています。

間もなく到来するロボットの時代にこそ、人と人との信頼を生み出す力、つまり、コミュニケーションスキルこそが、人の幸せを感じられる第一歩になると思います。

人にはできて、ロボットにはできないこと、それは「コミュニケーションスキルを磨き、仲間を作ること」です。

学生時代の友人は、きっと一生の友人となることでしょう。そのためにも共に泣き、喜び、励まし合い、心から許せる仲間を作りましょう。思いやりの心を育て、未来に突き進む準備をしましょう。

最後にご家族、保護者の皆さまにも、一つお願いがございます。今日から皆さまのお子さまは、名古屋産業大学、名古屋経営短期大学の学生とされました。おそろくほっとされ、あとは本人や大学に、お任せするとの考えをお持ちの方もいらっしゃると思います。

もちろん、先に述べましたように私ども教職員は全力を挙げてお子さまを支援してまいりますが、ご家庭におかれましても放任するのではなく、温かく自立を見守っていただくことをお願いいたします。

新入生の皆さん、皆さんには大きな可能性と未来、あふれる創造力があります。皆さん1人ひとりが、可能性を信じ、志を打ち立て、激動の時代に対応できる人材となって下さい。全力を挙げて皆さんを応援することを誓い、皆さんのご入学を心より歓迎する気持ちをお伝えし、私からの式辞といたします。皆さんおめでとう！

平成30年4月1日 名古屋産業大学 名古屋経営短期大学 学長 高木弘恵